

第8回 心を育てる地域と世代部会

【摘録】



日時：平成25年7月2日(火)18:15~20:30

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：大槻部会長】

1 出席確認

欠席委員：宮崎委員

2 前回会議内容の確認

摘録に基づき、前回までの討議の内容、流れを確認

3 進行イメージの確認

資料に基づき、今回の討議内容、流れ及び到達目標等を確認。

3 具体的な提案の検討

意見交換→別紙のとおり意見集約

4 今後のスケジュールについて

第9回 8月20日(火)18時15分~20時15分 区役所4階第1会議室

テーマ：心を育てる地域・世代間交流

【総論】

世代交流、多様な人材の発掘、活動団体の交流と連携に資する課題解決提案について、これまでの案から以下のようないくつかを選出し、具体的な内容・進め方等を討議した。

【キーワード】

心の教育、世代交流、人材発掘、活動団体の交流・連携、体験・交流・対話、

課題解決提案として取り上げられた項目とその内容・今後の進め方

モデル地区・団体へのサポート

■風の泉（九九学習支援サポート）への活動支援

○学習だけでなく、地域の人と児童の心の交流も狙っているので、支援するに相応しい。区民会議の委員経験者も多い。学校に入っていく際に苦労しているようだ。ニーズをうかがった上で提案としてまとめたい。（田浪）

■学校支援センターの機能強化

○今年度実施した学校アンケート調査とその結果の提供は、区民会議の実績としてアピールができる。（平井）
○社協などと連携し、単独のボランティア募集でなく、横のつながりを持つことを目指したい。（太田）

既存イベントに世代交流の企画やコーナーの導入

■子育てフェスタでの世代交流企画

○過去には赤ちゃんと一緒にできる手遊び歌などが好評だった。他世代交流したいという実行委員もいる。（田浪）

■子ども遊びランド

○区民会議で宮前かるたを活用したコーナーなどもうけてはどうか。（田浪）

■「チャレボラ」体験者の交流会

○OB（経験者）の交流の場など設定できると良い。まずは今年度のまとめの場に見学に行く。（太田）

交流プログラムの開発・企画

■世代交流対話の場の企画

○ある成人の得意分野への知識・見識や経験・技術を核に他世代が体験・対話を共有するイメージ。様々なテーマをシリーズとして設定する。例えば「旧陸軍東部 62 部隊の歴史」の調査活動しているグループなどがある。（大槻・岡・山下）

■自然体験の集い 宮前区版

○多摩区のイベントほど大掛かりでなくて良い。宮前区内のいろいろな公園で年間を通してしかけるイメージ。地域の農家と連携して地場産物の体験、話し合い交流にもつなげられると良い。（平井）

○担い手としてコーディネートを含めて実施できる団体が確立していないと困難、その動きをサポートする形では可能か。

■地域教育会議の「談義カード」の活用

○地域で直面する様々な問題の場をカードで設定し、Yes / No で討議することで互いの理解や会話を深めるしくみ。

地域教育会議で問題作成し、先生方の研究の場でも取り上げられた。（大槻）

○世代交流の目的に即したアレンジ、新たな問題の作成が必要。地域教育会議にまず投げかけてみる。（大槻）

アーカイブ事業との連携

○他都市では、歴史・文化などをテーマに編集した冊子を 1 冊 700 円で販売している例もあった。（山下）

○区役所のアーカイブ事業に関する方針や企画等が固まってきた時点で具体的な検討を進める。（大槻、事務局）

コーディネーターの育成 ※今期は経過報告のみ、提案としては取り上げない

○PTA のOB 会は組織の有無があり、各校で事情が異なる（山下）

○市民館では毎年テーマを変えながら養成講座を展開しているが、修了者等を活かしてきれていない現実ある。（大槻）